

令和元年度

一般財団法人佐渡文化財団

事 業 報 告 書

令和 2 年 3 月 31 日

I 事業総括

一般財団法人佐渡文化財団（以下、「財団」という。）において、令和元年度は設立2年目の本格的な事業開始年度と位置付けられており、初年度に築いた人脈やデータ等の成果品を用いて市民の期待に対し目に見える形で応えていく計画となっていました。

一方で、職員の退職もあったことから、年度初めの事務局体制は、専務理事（常勤理事）兼事務局長、正職員1名及び佐渡市派遣職員2名の4名体制と少人数での運営を余儀なくされ、更にはその補充についても難航したことから事業の進捗が想定通りに進まない状況を作ってしまいました。佐渡市による四半期ごとの進捗状況調査においても進捗率の低下状況から不安を与えてしまうこととなり、第2四半期までの調査結果をもとに業務改善指導を受ける結果となっていました。第3四半期には臨時職員も含めて8名の事務局体制を構築でき、遅れていた事業を中心にして多くの方々にご心配をおかけしたことは大いに反省すべき点と感じております。

他方、事業分野においては、佐渡に残る貴重な「伝統芸能」、「伝統工芸」、「伝統建築」を柱とし、それらを「継承」、「活用」、「発信」していくための取組を実施してまいりました。令和元年度においては、学習会の開催やワークショップなど、市民と触れ合う機会を増やしながら、財団の知名度を上げるとともに文化振興にむけた機運の醸成を図ってきたところです。

新型コロナウイルスの影響により行うことができなかつた事業があったことは残念でなりませんが、一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願うと共に、皆様のご健康をお祈りしております。

II 事業概要

定款第3条に掲げる目的の達成に向けて、伝統芸能部門、伝統工芸部門、伝統建築技術部門、情報発信部門に区分けし、以下のとおり事業を実施しました。

1. 伝統芸能部門

伝統芸能団体の現状調査を進めると同時に、継承・活用・発信するための事業を展開しました。新規事業である和楽器貸出事業や創作芸能団体による魅力発信などに加え、新潟県初開催となった国民文化祭にいがた2019や佐渡民謡の祝祭、空港展示事業など、佐渡の文化振興に寄与する事業には積極的に参画しました。

(1) 継承事業

①ワークショップの実施

- ・相模女子大交流ワークショップ

相模女子大の能合宿に合わせ、創作芸能団体との交流ワークショップを実施。若者同士の交流を図るとともに、民謡衣装の着付け体験や民謡体験ワークショップにより、伝統芸能の魅力を伝えた。

- ・芸能研修&民謡体験ワークショップ【延期】

芸能研修事業及び楽器貸出事業と絡めた大人向け民謡体験ワークショップとして、普段体験できない和楽器（三味線・太鼓・篠笛）等を体験できる企画としたが、コロナウイルスにより延期となった。

②和楽器貸出・講師派遣

- ・和楽器貸出事業

新規事業として4月より開始。校長会を通して学校への周知により利用を呼び掛けた。令和元年度は8件、延べ70台の貸出実績となった。

- ・講師派遣

和楽器貸出事業と合わせて周知。2校より民謡授業への派遣依頼があり、延べ4名の講師派遣を行った。

③芸能道具の振興（後継者育成・販売促進）

- ・鬼太鼓用わらじ

工芸部門と共同により鬼太鼓に使用するわらじ作りワークショップを開催。わらじ作り部門には抽選により選ばれた20名が参加。

- ・おけさ笠販売促進

H30年度事業において手掛けたおけさ笠について、担い手育成に繋げるためグッズ制作事業と合わせてオーダーメイドおけさ笠を制作し、販売促進を行った。

④文化学習・ガイドスキルアップ研修会

- ・芸能学習会

伝統芸能BOOK（鬼太鼓編・風流と唄編・舞台芸能編・祈りと神楽編）を活用し、4回にわたり市民向けの学習会を開催。合計63名が参加。

- ・ガイドスキルアップ研修会【延期】

ワークショップ事業、和楽器貸出事業と絡めた芸能研修会として「村田文三と佐渡民謡の故郷を訪ねて」を企画したが、コロナウイルスにより延期。

⑤芸能団体調査

調査支援を受けながらの鬼太鼓（祭り）調査の他、民謡団体調査及び他団体による各種イベント等への参加に合わせて実態把握のための調査を行った。

また、財団の事業を支える財団サポーター制度の導入に向け、調査の完了した民謡団体と意見交換会を行った。

（2）活用事業

①芸能集団派遣

佐渡伝統芸能の魅力を伝えるとともに、後継者の育成に寄与する目的である「佐渡ヶ島謡踊団」の派遣事業を行った。既存の芸能団体も参画できる体制を整え、演出プロデュース等によりレパートリーを増加。イオン新潟南での新潟フェアや姉妹都市である国分寺まつり、5万人規模の来場者が見込まれたふるさと祭り2020など、7箇所9ステージで佐渡伝統芸能の魅力を発信した。

②グッズ制作（活用・発信事業）

伝統芸能の普及啓発、情報発信及び郷土愛の醸成を目的とした「オリジナル図書カード」及び芸能道具振興事業と絡めた「オーダーメイドおけさ笠」を制作し販売も開始した。

（3）発信事業

①伝統芸能アーカイブ発信

伝統芸能アーカイブ更新業務を受託し、新たな動画の掲載や見に行くプランの掲載により価値を高め、文化財団事業とあわせた情報発信を行った。

②芸能プロモーション動画の制作、発信

佐渡芸能アーカイブへの誘導を促し広く伝統芸能をPRするためのプロモーション動画を制作し、県内ローカルテレビでのCM放映や観光客向けとして佐渡汽船ターミナルでの放映を行っている。

（4）伝統芸能の振興に寄与する事業への積極的な参画

①国民文化祭事業「ようま芸能絵巻」（DMO連携）

②佐渡民謡の祝祭

③佐渡芸能アーカイブ更新業務

④小木扇の市（DMO連携）

⑤文化庁事業「分散型ミュージアム新潟空港展示事業」

2. 伝統建築部門

宮大工技術の究明及び工匠制度化に関する事業、及び茅場の調査、茅刈りや茅葺の体験等による茅葺文化の振興事業を行った。

(1) 宮大工技術の究明及び工匠制度化に関する事業

① 宮大工三流派の究明

学術的な再調査は協力が得られずできなかつたものの、参考資料をもとに昨年度制作した社寺建築アーカイブを体系的にまとめ、ホームページに掲載した。運営母体の設立や建築技術者のネットワーク化は建築フォーラムの開催後に行う計画としていた。

② 講演会「建築フォーラム」の開催【延期】

育成カリキュラムの策定や工匠制度化を目指し、専門学校やヘリテージマネージャーらと協議検討を行つたが、まずは建設業界に限らず、一般市民にも島内社寺建築の価値を再認識してもらい、保存活用継承への意識を醸成する必要があるとのことから、前年度作成した社寺建築アーカイブをもとにした講演会を企画。3月15日開催予定で準備を進めていたが、コロナウイルスの影響により延期となった。

(2) 技巧品開発

高度な木工造作技術を保有する島内の建具職人と共同し、佐渡における木工細工の歴史を踏襲しながらも現代のライフスタイルに適合する新しい木工製品、いわゆる技巧品の開発を実行した。また、技巧品の試作品を製作することにより、技術の向上や島内の木工造作技術保持者、および、それに類する技術者らの参画意識を醸成し、ひいては、収益化を図るビジネスモデルを構築することで継続可能な事業とすることを目的とし実施し、試作品3種類合わせて9点を製作した。工芸部門のネスパス展示即売会に合わせて市場調査を行う予定であったが、コロナウイルスにより延期となった。

(3) 茅葺文化の振興事業

①茅場及び保管場所の調査

島内茅葺き職人への聞き取り等により茅場の候補地4カ所の視察・周辺調査を行うとともに、茅の保管に関する候補地を模索した。

②茅葺文化体験ワークショップの開催

茅刈りと茅葺きの体験として、11月に「茅刈りとティピ作り」のワークショップを行つた。ワークショップは、屋根葺きに適した茅束を作るための茅刈

体験及び刈った茅束を使い茅葺き技術の体験をするティピ作りとし、小学生から70代までの合計12名が参加した。

③茅葺に関する情報収集・仲介・情報発信

島内に限らず、国内の茅葺に関する情報を収集した。また、茅葺修繕に関する問い合わせに対する仲介や、佐渡葺き調査結果をホームページに掲載する等の情報発信を行った。

3. 伝統工芸部門

伝統工芸におけるレッドデータの実態調査を進めると同時に、手業であるわら細工を継承・活用・発信する事業を展開した。

(1) かぐやプロジェクト

①後継者育成事業（後継者育成プログラム）の考案のための情報収集

昨年度実施した竹細工技術者については、商品の流通や技術者の育成に問屋が関わって実施されていることから、今年度は同様に身近にある資源を活用しているわら細工職人を中心に調査（聞き取り）を行った。

その他にもレッドデータの委託調査（工芸実態調査）を行い、後継者育成に繋げるための情報を収集した。

また、わらを題材とした新潟県民具学会研究会に参加し、専門的な方との人脈作り及び今後の文化財団事業の説明、支援をお願いした。

②わら細工ワークショップの開催

技術に触れる機会と実際に体験する機会を設け、技術の継承と芸能道具の振興を目的としたわら細工ワークショップを開催。定員35名に対し122名の応募があり、定員を50名に増員して実施した。（縄ない25名→30名、わらじ10名→20名）時間の都合もあり講話会までは行うことはできなかったが、博物館のわら細工資料を借用し、必要に応じて博物館職員による説明をお願いするなどわら細工文化の継承に向けた気運の醸成を図った。

③商品開発（市場調査）

・試作品【縄縫いキット】の開発

ワラ細工の基本的な技術である「縄縫い」を幅広い層に簡易的に体験して頂く事を目的とし、「縄縫いキット」を開発。

・【縄縫いHOWTO動画】の制作

縄縫いをより分かりやすく解説するための、縄縫いHOWTO動画を作成し、キットの説明書に動画QRコードを添付。

③ PR動画、広報物の制作

わら細工に関するコンパクトで視覚的に分かりやすいPR動画を制作。

媒体の多様化に合わせ、横型（パソコン、モニター等）、縦型（縦のデジタルサイネージ、スマホ等）の2種類を制作し、YouTubeに登録した。また、ネスパス展示会に合わせたリーフレットを制作し、情報の発信に努めた。

⑤ネスパス展示即売会【延期】

以下により展示即売会を企画していたが、コロナウィルスにより延期となつた。

- ・工芸PR動画の放映
- ・開発商品等の販売
- ・市場調査
- ・装飾品展示
- ・リーフレットによる発信

（2）レッドデータ情報活用

①伝統工芸実態調査

伝統工芸技術の現状をできるかぎり把握し、関係資料の収集・保存・活用あるいは、継承・情報発信を目的に調査を実施。

②情報公表（PR制作物）

調査報告書の内容をベースに、より多くの方に佐渡の工芸を知ってもらうことを目的に、読みやすさを重視した冊子を作成した。

4. 情報発信部門

公式ホームページの更新やSNS、情報誌を活用した情報発信を行った。ホームページにおいては、英語版の作成、社寺アーカイブや芸能団体の紹介、物販ページの導入など、これまでの実績を活用した情報発信及びSNSや広報誌等を活用した市民向けの活動周知に努めた。

（1）ホームページの多言語化と内容の充実化

①英語版の作成

②内容の充実化

- ・社寺建築アーカイブ資料の掲載
- ・佐渡葺き報告書の掲載

（2）佐渡文化のPRとホームページ機能の充実

- ① HP への民謡団体紹介ページの追加
- ② HP への物販ページの追加
- ③ フェイスブックやインスタグラムなどの SNS を活用した PR
- ④ V チューバー「がた姫」を活用した工芸 PR

(3) コーポレートアイデンティティの計画・実施

文化財団を島内外にアピールするためのシンボルマークを制作し、広報物やチラシ等において活用した。選考においては、市民に投票をお願いし結果を公表した。

(4) 広報誌の発行

事業報告を中心とした情報誌を 3 月に制作し、市施設等への配布及び市回覧により市民を中心とした周知に努めた。

III 総務事項

1. 組織

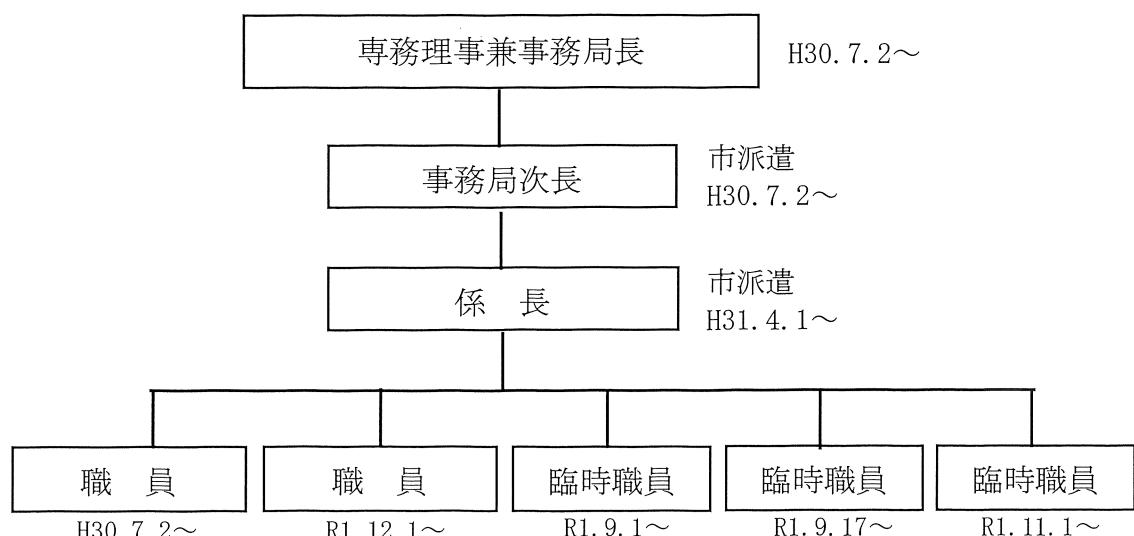
(1) 評議員

役職	氏名	就任	備考
評議員	渡邊 尚人	平成 30 年 7 月 2 日	佐渡市教育長
評議員	伊藤 窯一	平成 30 年 7 月 2 日	
評議員	本間 久雄	平成 30 年 7 月 2 日	
評議員	徳永 健一	平成 30 年 7 月 2 日	
評議員	齋藤 美千枝	平成 30 年 7 月 2 日	
評議員	佐々木 恵里紗	平成 30 年 7 月 2 日	
評議員	末武 榮子	平成 30 年 7 月 2 日	

(2) 理事・監事

役職	氏名	就任	備考
理事長	渡邊 秀則	平成 30 年 7 月 2 日	
専務理事	伊藤 慎太郎	平成 30 年 7 月 2 日	
理事	加藤 透	平成 30 年 7 月 2 日	
理事	上之山 博文	平成 30 年 7 月 2 日	
理事	本間 千奈未	平成 30 年 7 月 2 日	
理事	日下 敏啓	平成 30 年 7 月 2 日	
監事	祝 良久	平成 30 年 7 月 2 日	
監事	河原 森久	平成 30 年 7 月 2 日	

(3) 事務局



2. 会議の開催

(1) 理事会

第1回定期理事会

日 時 令和元年5月29日（水）
場 所 畑野行政サービスセンター 4階 会議室
議 案 ①平成30年度事業報告
②平成30年度収支決算及び監査報告
③監事意見書
④理事の辞任及び補欠理事候補者
⑤第1回定期評議員会の招集

第2回臨時理事会

日 時 令和元年6月4日（火）
場 所 畑野行政サービスセンター 4階 会議室
議 案 ①代表理事の選定

第3回定期理事会

日 時 令和元年10月24日（木）
場 所 畑野行政サービスセンター 4階 第2研修室
議 案 ①令和2年度予算編成方針
②嘱託職員等就業規則の一部を改正する規程
③会計処理規程の一部を改正する規程

第4回臨時理事会

日 時 令和元年12月11日（水）
場 所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
議 案 ①会計処理規程に関する内規の制定
②業務改善報告書の提出

第5回臨時理事会

日 時 令和2年3月6日（金）
場 所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
議 案 ①補正予算案
②各種委員会（事業計画策定委員会を除く）規則の制定

- ③倫理委員会の設置及び委員
- ④役員選考委員会の設置及び委員
- ⑤役員選考に関する案件の役員選考委員会への付託

第6回定期理事会

日 時 令和2年3月26日（木）
場 所 佐渡博物館 2階 会議室
議 案 ①2020年度事業計画及び収支予算

（2）評議員会

第1回定期評議員会

日 時 令和元年6月13日（木）
場 所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
議 案 ①平成30年度事業報告及び決算の承認

第2回臨時評議員会

日 時 令和2年1月27日（月）
場 所 佐渡市教育委員会 1階 第1会議室
議 案 ①評議員の辞任
②業務改善報告書の提出
③常勤役員の報酬額
④役員の公募制の導入

第3回臨時評議員会

日 時 令和2年3月30日（月）
場 所 佐渡博物館 2階 会議室
議 案 ①令和2年度佐渡市一般会計補正予算の状況
②佐渡文化財団の運営
③理事の辞任